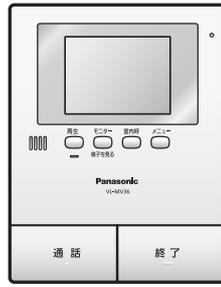




カメラ玄関子機
(ドアホン)
VL-V522L



モニター親機
(ドアホン親機)
VL-MV36KL

品名 **テレビドアホン**

品番 **VL-SV36KL**

もくじ

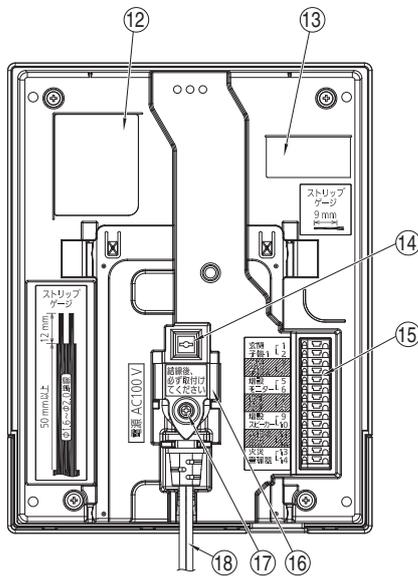
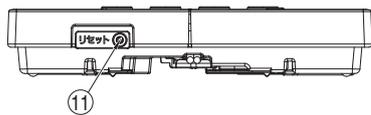
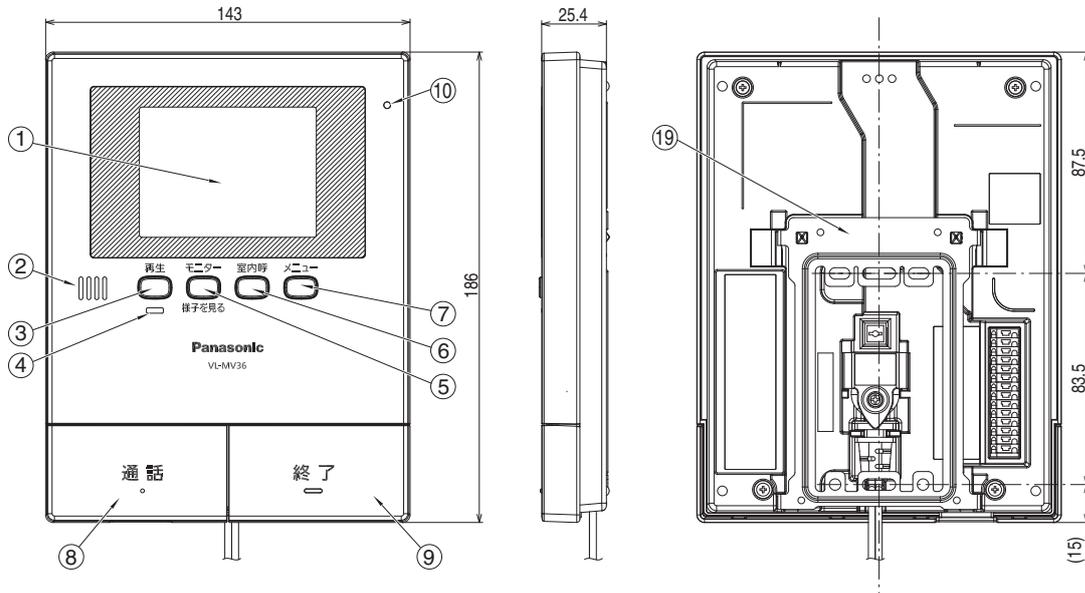
外形寸法図／付属品／仕様	2
・ ドアホン親機：モニター親機 VL-MV36KL	2
・ ドアホン：カメラ玄関子機 VL-V522L	4
各部のなまえとはたらき	5
・ ドアホン親機：モニター親機 VL-MV36KL	5
・ ドアホン：カメラ玄関子機 VL-V522L	6
システム構成図	7
・ 別売品	8
・ 連携できる機器一覧	8
設置上のお願い	10
・ 設置場所について	10
・ 工事について	11
配線系統図	13
ドアホンの取り付け位置を決める	15
ドアホンを取り付ける	17
ドアホン親機を取り付け位置を決める	18
ドアホン親機を取り付ける	19
・ 正しく動作するか確認する	22

商品仕様書図	品名	テレビドアホン	品番	VL-SV36KL	
パナソニック システムネットワークス株式会社	作成	2012年8月	変更	年 月	1/22

外形寸法図／付属品／仕様

ドアホン親機：モニター親機 VL-MV36KL

単位 [mm]



番号	名称
①	液晶ディスプレイ
②	スピーカー
③	再生ボタン
④	お知らせランプ
⑤	モニター(様子を見る)ボタン
⑥	室内呼ボタン
⑦	メニューボタン
⑧	通話ボタン
⑨	終了ボタン
⑩	マイク
⑪	リセットボタン
⑫	銘板
⑬	シリアルNo.ラベル
⑭	AC端子
⑮	DC端子(接続端子)
⑯	ACカバー(電源コードカバー)
⑰	ACカバー固定用ネジ
⑱	ACコード(電源コード)
⑲	壁掛け金具

●電源コードを外すと電源直結式になります。

■ 付属品

- 壁掛け金具 1個
- 壁掛け用木ねじ(4 mm×16 mm)..... 2個
- 壁掛け用小ねじ(4 mm×25 mm)..... 2個

外形寸法図／付属品／仕様 (ドアホン親機：モニター親機 VL-MV36KL)	品名	テレビドアホン	品番	VL-SV36KL	
パナソニック システムネットワークス株式会社	作成	2012年8月	変更	年 月	2/22

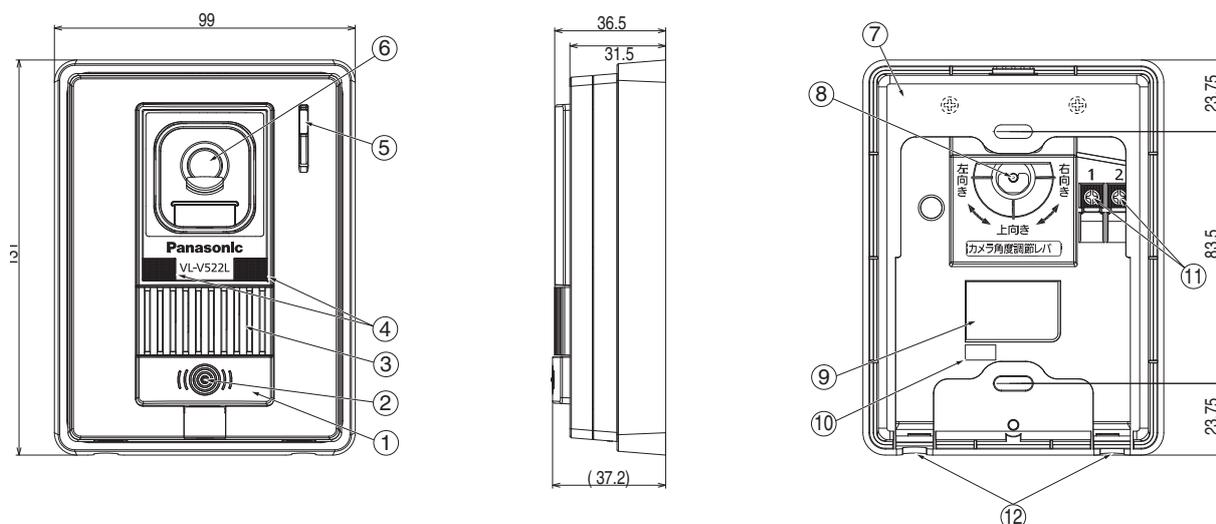
■仕様

電 源	AC 100 V (50 Hz / 60 Hz)
消 費 電 力	待ち受け時：約1.7 W、動作時：約8 W
外 形 寸 法	高さ 約186 mm × 幅 約143 mm × 奥行 約25.4 mm (突起部除く)
質 量	約460 g
使 用 環 境 条 件	周囲温度：0℃～+40℃、湿度：90%以下
画 面 表 示	3.5型TFT カラー液晶ディスプレイ
通 話 方 式	音声交互自動切替方式
取 付 方 法	露出壁掛け(壁掛け金具付属)
外 観 色 調	ホワイト
外 観 材 質	難燃性ABS樹脂(一部PS)

外形寸法図／付属品／仕様 (ドアホン親機：モニター親機 VL-MV36KL)	品名	テレビドアホン	品番	VL-SV36KL	
パナソニック システムネットワークス株式会社	作成	2012年8月	変更	年 月	3/22

ドアホン：カメラ玄関子機 VL-V522L

単位 [mm]



番号	名称	番号	名称
①	呼出ボタン	⑦	露出ボックス
②	位置表示ランプ	⑧	カメラ角度調整レバー
③	スピーカー	⑨	銘板
④	LEDライト	⑩	シリアルNo.ラベル
⑤	マイク	⑪	接続端子
⑥	カメラ部	⑫	水抜き穴

■ 付属品

- 壁掛け用木ねじ(3.8 mm×20 mm)……………2個
- 壁掛け用小ねじ(4 mm×25 mm)……………2個

■ 仕様

電源電圧	待ち受け時：DC 約5 V、動作時：DC 約20 V(ドアホン親機より供給)
消費電流	待ち受け時：DC 約2 mA、動作時：DC 約130 mA
外形寸法	高さ 約131 mm × 幅 約99 mm × 奥行 約36.5 mm(突起部除く)
質量	約200 g
使用環境条件	周囲温度：-10℃～+50℃、湿度：90%以下
取付方法	露出型：JIS1 個用スイッチボックス(カバー付き)適合
外観色調	シルバー
外観材質	難燃性PC/PS樹脂(パネル部：難燃性ABS樹脂)
最低被写体照度	1ルクス(カメラから約50 cm以内)
照明方法	LEDライト(照明用ランプ) 赤外線LED
防水性	IPX3※ (旧JIS C 0920 保護等級3「防雨構造」)

※ 鉛直から両側に60°までの角度で噴霧した水によっても有害な影響を及ぼさないレベル

外形寸法図／付属品／仕様 (ドアホン：カメラ玄関子機 VL-V522L)	品名	テレビドアホン	品番	VL-SV36KL	
パナソニック システムネットワークス株式会社	作成	2012年8月	変更	年 月	4/22

各部のなまえとはたらき

ドアホン親機：モニター親機 VL-MV36KL

再生 ● 録画を再生する
(☞ 取扱説明書24ページ)

お知らせランプ(赤) ……………
 ……新しく録画された未確認画像が
 ……あるときに点滅する
■ランプを消灯するには
 ……録画を再生する(☞ 取扱説明書
 ……24ページ)

モニター ● ドアホン側の様子を見る
(☞ 取扱説明書
17ページ)

室内呼 ● 別売の増設モニターを
接続したとき、室内通話
をする(☞ 取扱説明書
21ページ)

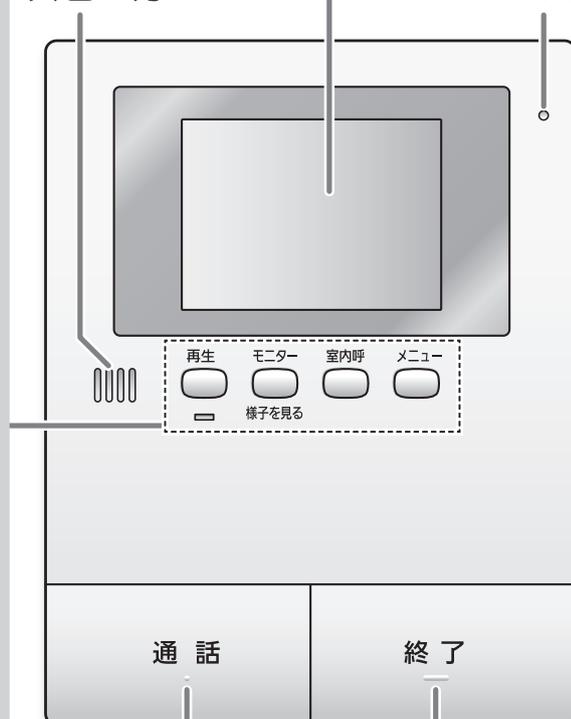
メニュー ● 機能設定をする
(☞ 取扱説明書
30ページ)

上記のほか、画面下部に表示された
機能进行操作するときも使います。
(☞ 取扱説明書10ページ)

液晶ディスプレイ

(☞ 取扱説明書10ページ)

スピーカー マイク



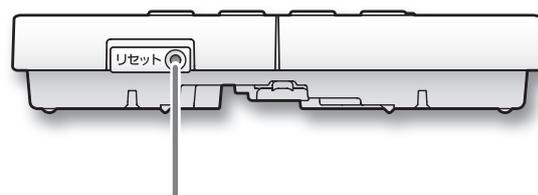
通話ボタン

● 来客と
通話する

終了ボタン

● 情報表示画面を
表示する
(☞ 取扱説明書
11ページ)
● 通話などの
操作を終わる

■下から見たとき



リセットスイッチ

● 動作がおかしいとき、先端の細いもので押してドアホン親機をリセット(再起動)する
(録画された画像、登録した設定内容などは消えません)

各部のなまえとはたらき (ドアホン親機：モニター親機 VL-MV36KL)	品名	テレビドアホン	品番	VL-SV36KL	
パナソニック システムネットワークス株式会社	作成	2012年8月	変更	年 月	5/22

ドアホン：カメラ玄関子機 VL-V522L

レンズカバー

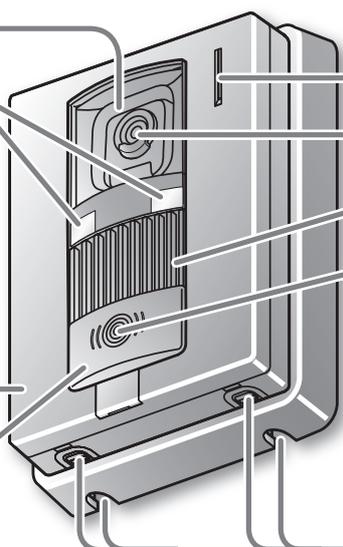
LEDライト(照明用)

- ドアホン親機の設定で自動点灯させたり、通話中などに手動でON/OFFできる(取扱説明書33、19ページ)

パネル

呼出ボタン

- 押すと呼出音が鳴る
- 押し続けながら話すと、下記の「ただいまコール」がはたらく



マイク

カメラレンズ

スピーカー

位置表示ランプ

- 暗いときでも呼出ボタンの位置がわかるように常時点灯する

水抜き穴(4か所)

- 雨水を抜くための穴です。ふさがらないでください

ただいまコールについて

室内の相手が応答しなくても、「ただいま」などと呼びかけることができる機能です。



① 呼出ボタンを押したまま、約3秒後に呼びかける

- ボタンを押すと同時に話し始めると、話の最初が途切れます
- 室内では映像が映り、ドアホン親機にのみ呼びかけが聞こえます



② 終わったら、指を離す

- ただいまコール時にドアホン親機から聞こえる声の大きさは、ドアホンの呼出音量の設定(取扱説明書27ページ)に連動します。(「切」設定中は、音量「小」で聞こえます)

ドアホンの映像(画質)について

- 太陽が映るとき、太陽の中心部が黒点に見ることがあります。
- 昼間など、ドアホンの周囲が明るいとき、来客の服装(色など)によっては色味が異なって映ることがあります。
- 夜間などドアホンの周囲が暗いときの映像について
 - ・ 外灯などで明るいところや白い壁は緑っぽく映ることがあります。
 - ・ ドアホンの照明(LEDライト)が消灯していると、被写体が白黒(または青紫)っぽく映ることがあります。

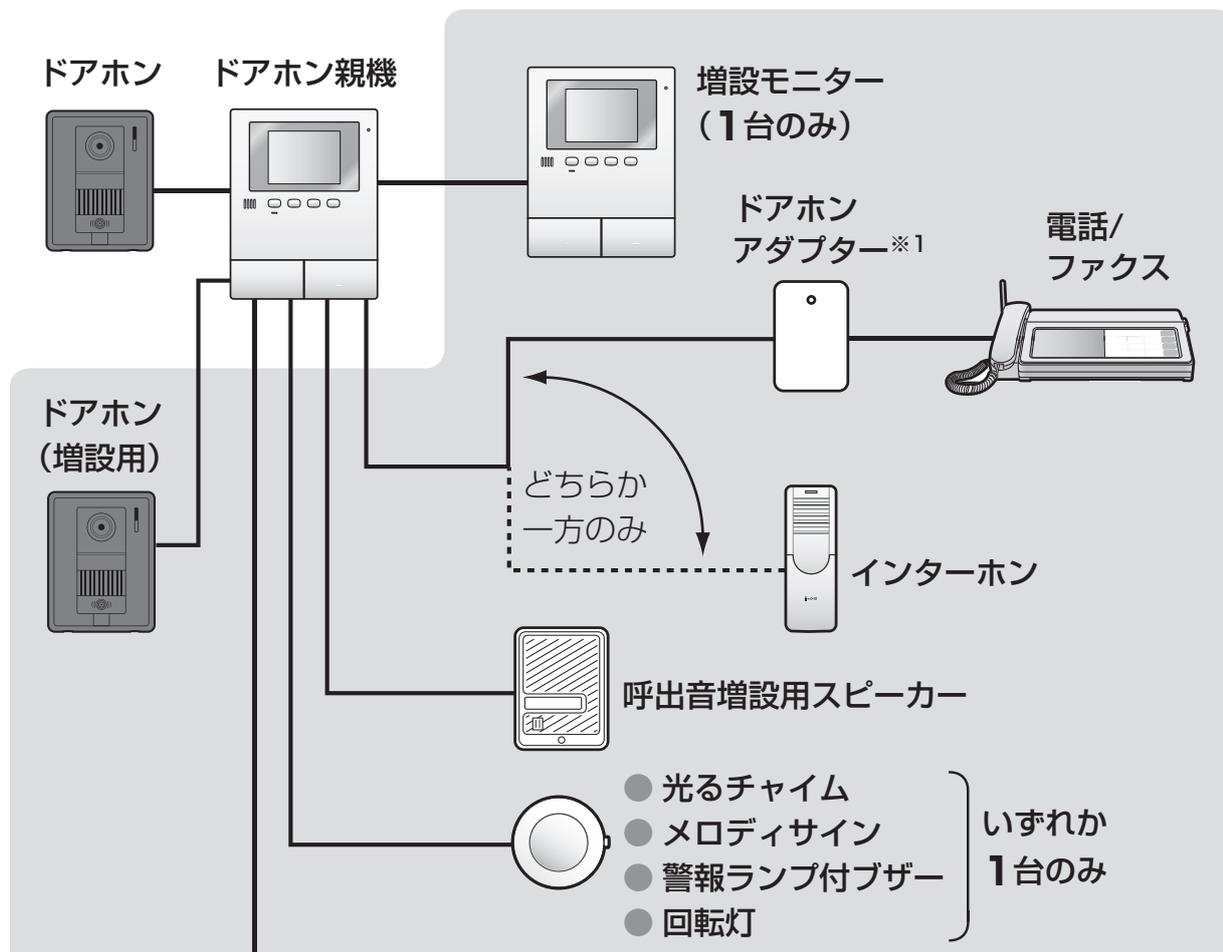
取扱説明書41～43ページもお読みください

各部のなまえとはたらき (ドアホン：カメラ玄関子機 VL-V522L)	品名	テレビドアホン	品番	VL-SV36KL	
パナソニック システムネットワークス株式会社	作成	2012年8月	変更	年 月	6/22

システム構成図

別売のドアホンや増設モニターを接続したり、他機器と接続(連携)することで、さらに便利なシステムとしてお使いいただくことができます。

- 下図は配線イメージです。ドアホン親機との配線の詳細は施工説明書をお読みください。また、接続する機器の設置などは、それぞれの機器の説明書をお読みください。
- 増設できる別売品や連携できる機器の一覧は(☞取扱説明書38ページ)



火災警報器〈連動型または単独型(移報接点付き)〉

- 連動型の接続には、移報接点アダプタ(☞取扱説明書39ページ)が必要です。

ドアホン親機 — 移報接点アダプタ — 連動型の火災警報器(14台まで) ※2

- 単独型(移報接点付き)の場合、移報接点アダプタは不要です。

(ドアホン親機との並列接続で、最大**15**台まで)

※1 電話/ファクス接続時に必要です。(本機には、配線なしで電話/ファクスを接続するワイヤレスアダプター機能はありません)

※2 接続できる連動型の火災警報器については、移報接点アダプタの説明書をご覧ください。

システム構成図	品名	テレビドアホン	品番	VL-SV36KL	
パナソニック システムネットワークス株式会社	作成	2012年8月	変更	年 月	7/22

記載した情報は2012年8月現在のものです。内容は追加・変更になる場合があります。

別売品

(ご注文は、お買い上げの販売店にお申し付けください)

■ 増設用のドアホン(玄関子機)

製品名		品番	希望小売価格(税込)
カメラ 玄関子機	露出型 〔広角レンズ、LEDライト、 逆光補正付き〕	VL-V570L-S	29,400 円
	露出型 〔LEDライト、 逆光補正付き〕	VL-V522L-S※ ¹	27,300 円
		VL-V521L-S	28,350 円
	露出型	VL-V566-S	25,200 円
	埋込型	VL-V552-S	44,940 円
音声玄関子機	露出型	VL-V500-K	10,290 円

※1 付属のドアホンと同じ仕様です。その他のドアホンは仕様や機能が異なります。

■ その他

製品名	品番	希望小売価格(税込)
増設モニター	VL-V631K	オープン価格※ ²

※2 オープン価格製品の価格は販売店にお問い合わせください。

連携できる機器一覧

■ 電話/ファクス、インターホン (パナソニック製品)

機器名		品番
電話 / ファクス	ドアホンアダプター (電話/ファクス接続用)	VE-DA10-H (VE-DA10)
	電話機	VE-GD51シリーズなど
	ファクス	KX-PD701シリーズなど
インターホン		VL-A467LAK、VL-A467LAX、VL-A468LA、 VL-F411X-W

上記のドアホンアダプター
対応機種のみ連携できます

■ 呼出音増設用スピーカー (パナソニック製品)

機器名	品番
呼出音増設用スピーカー	VL-862W
	EC95352

システム構成図 (別売品・連携できる機器一覧)	品名	テレビドアホン	品番	VL-SV36KL	
パナソニック システムネットワークス株式会社	作成	2012年8月	変更	年 月	8/22

連携できる機器一覧(つづき)

■ 光るチャイム/メロディサイン/警報ランプ付ブザー/回転灯

機 器 名		品 番
光るチャイム	パナソニック (株)製	EC170 (P)
メロディサイン※3		乾電池式 : EC5227W (P)、EC5117WKP、 EC5347 AC100 V式 : EC710K、EC721K、EC730W
警報ランプ付 ブザー		EA5501
回転灯		(株)パトライト製 KJS-110、KJSB-110、KES-110

※3 EC5347、EC730Wはオートストップ機能付きです。

(オートストップ機能がない場合、30秒間チャイムが鳴動します)

■ 火災警報器

機 器 名		品 番
単 独 型	住宅用 火災警報器 (移報接点付き)	パナソニック (株)製 ねつ当番 : SH28413、SH28453K、SH38453 煙検知式 : FSKJ219-S 熱検知式 : FSLJ009-S
	移報接点 アダプタ 〔連動型の火災 警報器接続用〕	パナソニック (株)製 連動型用 : SH2890 ワイヤレス連動型用 : SH3290
連 動 型	住宅用 火災警報器	対応機種は、接続する移報接点アダプタによって 異なります。 (上記の移報接点アダプタの説明書をご覧ください)

システム構成図 (連携できる機器一覧)	品 名	テレビドアホン	品 番	VL-SV36KL	
パナソニック システムネットワークス株式会社	作 成	2012年8月	変 更	年 月	9/22

設置上のお願い

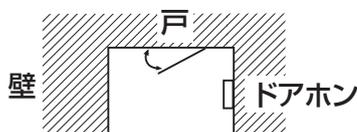
設置場所について

こんなところには設置しない (故障や動作障害などの原因になります)

- 振動、衝撃のあるところ
- 反響の多いところ
- 硫化水素、アンモニア、硫黄、ほこり、有毒ガスなどの発生するところ
- テレビ、電子レンジ、パソコンなどのOA機器、エアコンなどの近く

ドアホンの設置について

- 逆光になる場所への設置は避けてください。(来訪者の顔が暗く映り、識別しにくくなります)
- 下図のように反響の多い場所では、「ピー」という音(ハウリング)が生じることがあります。



- ドアホンの防水性は下記のとおりです。

IPX3*
(JIS C 0920 保護等級3「防雨構造」)

* 鉛直から両側に60度までの角度で噴霧した水によっても有害な影響を及ぼさないレベル

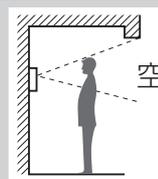
- 背面に水などが直接かからないようにしてください。

ドアホン親機の設置について

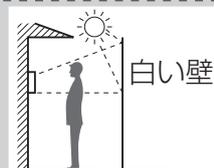
- 本体の上下左右に20 cm以上の空間をとってください。また、壁を深くくぼめたスペースへの設置はできるだけ避けてください。(誤動作や通話の途切れ防止)
- 本体を埋め込まないでください。
- 強電界地域や電波を発する無線局周辺では、映像や音声にノイズなどが入ることがあります。
- ドアホンとの間や、別売の増設モニターや電話/ファクス(ドアホンアダプター含む)との間は、右図のように離して設置してください。
- ワイヤレス連動型用移報接点アダプタ「SH3290」で、火災警報器を接続するとき
→ 移報接点アダプタと火災警報器から、それぞれ1 m以上離してください。
(近接すると、移報接点アダプタと火災警報器間の電波到達距離が短くなる場合があります)

〈逆光になる場所〉

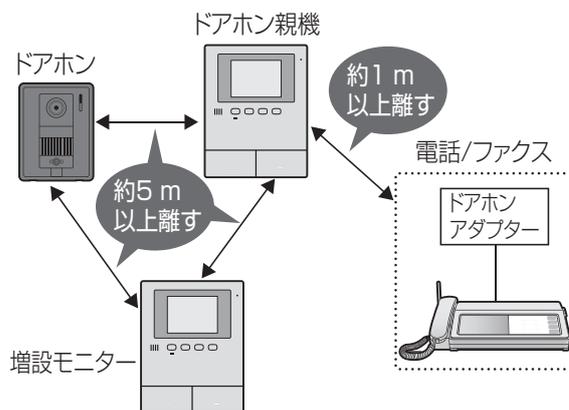
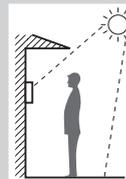
背景に空の占める割合の大きい玄関



正面に、直射日光が反射する白壁がある玄関



直射日光が当たるような、明るい玄関



設置上のお願い (設置場所について)	品名	テレビドアホン	品番	VL-SV36KL	
パナソニック システムネットワークス株式会社	作成	2012年8月	変更	年 月	10/22

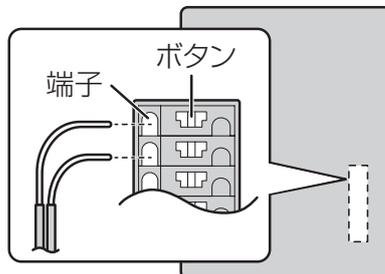
工事について

- 電源について：必ず遮断装置を介した次のいずれかの方法で接続する。
 - (1) 電源コンセントの近くに設置し、遮断装置(電源プラグ)に容易に手が届くこと。
 - (2) 3 mm以上の接点距離を有する分電盤のブレーカーに接続する。
ブレーカーは保護アース導体を除く主電源のすべての極が遮断できるものを使用すること。
- 既存または新設のドアホン配線などを接続する場合は、接続工事の前に、必ず大地アースと配線との絶縁抵抗、配線2線間の絶縁抵抗、および配線の線路抵抗値(直流ループ抵抗)を測定のうえ、下記の抵抗値と照合し、異常のないことを確認してから接続工事を行う。

絶縁抵抗値	DC500 V にて 1 MΩ 以上
線路抵抗値	直流抵抗計にてループ抵抗 10 Ω 以内(配線距離 100 m以内で)

- 本機は電気設備技術基準による施工を行う。
 - ・使用する埋込みボックスに、堅牢な隔壁(電源線とその他の信号配線材の間)を設ける。
 - ・金属ボックスを使用する場合はD種接地を行う。
 - ・配線材はAC 600 V以上の絶縁電線を使用する。
- ノイズ障害が考えられる場合は、金属配管の中に接続線を通して工事を行う。
(金属管は必ず大地アースをすること)
- AC 100 V以上の電力線(電灯線)とは1 m以上離して配線工事するか、別々の金属管による配管工事を行う。
- ドアホン親機の信号線接続端子は、速結端子になっているため以下の方法での結線を行う。
(接続できる線種などについては  「線種と配線距離について」)

<ドアホン親機背面>



配線材を挿入する場合

- ・配線材の被ふくを9 mmむく。
- ・ドライバーの先などでボタンを押しながら配線材を確実に端子に挿入する。

配線材を抜く場合

- ・ドライバーの先などでボタンを押しながら配線材を引き抜く。

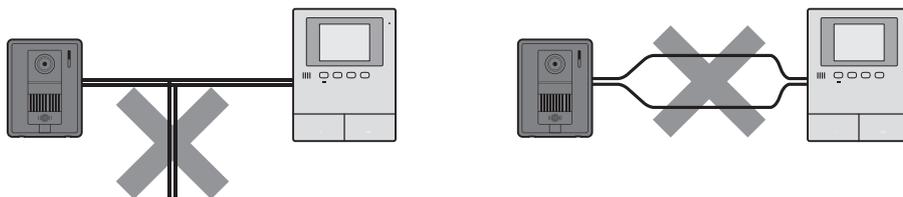
- 誤配線、ショートなどが無いことを確認後、ドアホン親機の電源を入れる。

設置上のお願 (工事について)	品名	テレビドアホン	品番	VL-SV36KL	
パナソニック システムネットワークス株式会社	作成	2012年8月	変更	年 月	11/22

工事について(つづき)

既設(チャイム/ベル/ブザー/テレビドアホン/音声ドアホン)の配線を使用して本機を取り付けるとき

- 既設の配線に電源(AC100 V、24 Vなど)が接続されている可能性があるため、必ず電気工事士の資格を持つ方が工事をしてください。(誤って接続すると故障の原因になります)
- 工事の際は、まず既設配線の電源を切り、配線材の線種と配線距離を確認してから配線してください。
 - 本書の「線種と配線距離について」の内容に合わない場合、正常に動作しないことがあります。
 - 線種がφ1.6 mmのときは、配線材を取り替える
 - 線種が「より線」のときは、指定の方法で接続する(▶▶▶ 21ページ「ドアホン親機を取り付ける」の手順3)
 - ドアホン親機とドアホン間に不要な配線材があるときは、取り除くか新たに配線してください。また、下記のように配線材を分岐したり、極端にばらしたりしないでください。正常に動作しないことがあります。



線種と配線距離について

(下表の記載以外で使用すると、動作不良の原因になります)

配線区間	線種	配線距離(総延長)
ドアホン～ドアホン親機～増設モニター └──────────※──────────┘	インターホン用平行2線式ケーブル 単芯線(mm)：φ0.65～φ0.8	100 m以内
ドアホン親機～インターホン		
ドアホン親機～ドアホンアダプター		
ドアホン親機～呼出音増設用スピーカー		75 m以内
ドアホン親機～A接点出力端子に 接続可能な機器	ドアホン親機接続端子の許容線種 単芯線(mm)：φ0.65～φ0.8	接続する機器の 仕様に従う
ドアホン親機～火災警報器		50 m以内

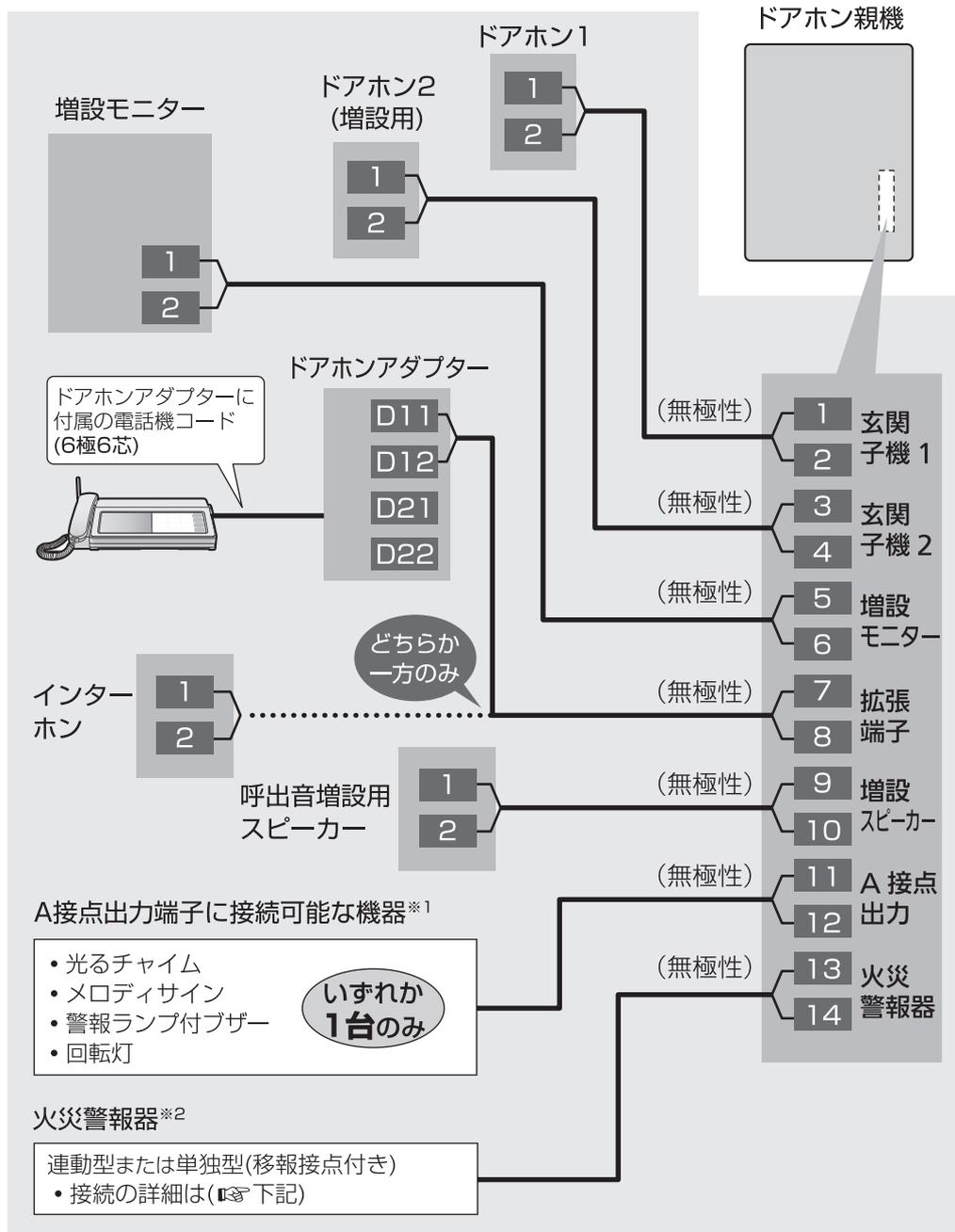
※ 増設モニターを接続する場合は、ドアホン～ドアホン親機～増設モニター間の配線距離の合計が100 m以内になるように配線してください。

設置上のお願い (工事について)	品名	テレビドアホン	品番	VL-SV36KL	
パナソニック システムネットワークス株式会社	作成	2012年8月	変更	年 月	12/22

配線系統図

この配線系統図および「線種と配線距離について」に従って正しく配線してください。

● 接続できる機器の詳細(品番など)は、取扱説明書38、39ページをお読みください。



※1 ● 下記の定格に適合した機器を接続してください。並列接続はできません。

(故障の原因になります)

● 定格負荷：AC、DC 24 V / 0.3 A 以下 ● 最小適用負荷：DC 5 V / 1 mA

● A接点出力は、ドアホンからの呼び出しに回答すると「OFF」、応答しないと約30秒間「ON」になります。

(動作の詳細は、接続機器の説明書をご覧ください)

※2 下記の定格に適合した機器を接続してください。

● 入力方式：無電圧メイク接点

● 端子間開放電圧：DC 7 V以下

● 検出確定時間：0.1 秒以上

● 接点抵抗値：メイク時 500 Ω以下

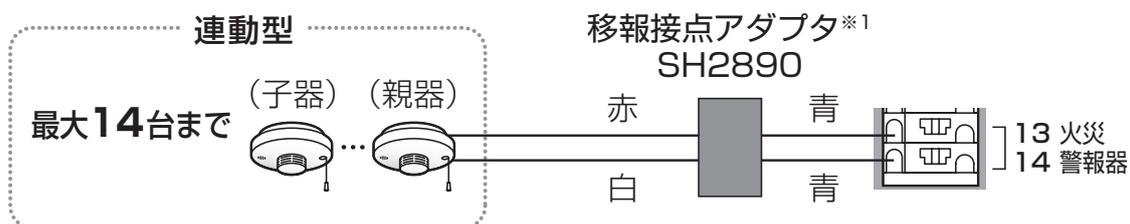
● 端子間短絡電流：5 mA以下

ブレイク時 15 kΩ以上

配線系統図	品名	テレビドアホン	品番	VL-SV36KL	
パナソニック システムネットワークス株式会社	作成	2012年8月	変更	年 月	13/22

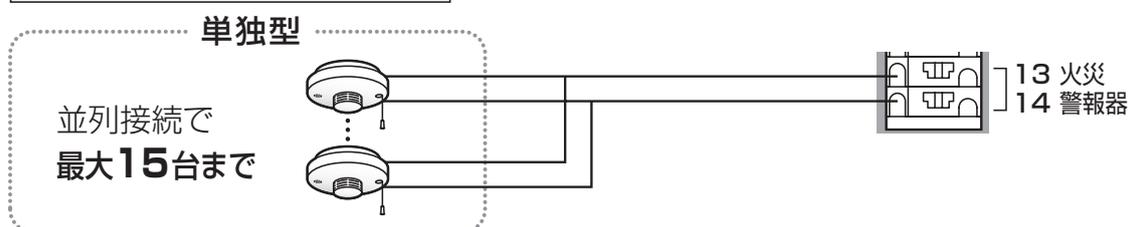
■ 火災警報器を接続するとき（火災警報器のタイプによって接続方法が異なります）

連動型の場合：移報接点アダプタが必要です



- ドアホン親機に直接、連動型の火災警報器を接続しないでください。（故障の原因）
- 移報接点アダプタとの配線時は、線の色を間違えないでください。（故障の原因）

単独型(移報接点付き)の場合



- 単独型を複数台接続する場合も、火災警報器端子への入線は、1端子あたり1本にしてください。

※1 ワイヤレス連動型の移報接点アダプタ「SH3290」を接続することもできます。

- ドアホン親機と「SH3290」間は有線接続です。
- 「SH3290」と、ワイヤレス連動型の火災警報器間は無線で連動します。

詳細は、「SH3290」の説明書をお読みください。

配線系統図	品名	テレビドアホン	品番	VL-SV36KL	
パナソニック システムネットワークス株式会社	作成	2012年8月	変更	年 月	14/22

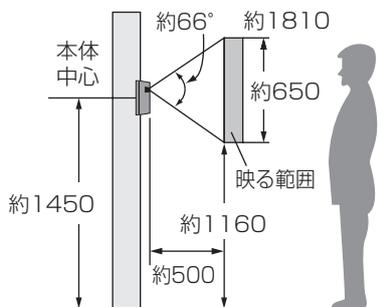
ドアホンの取り付け位置を決める

取り付け位置(高さ)とカメラに映る範囲

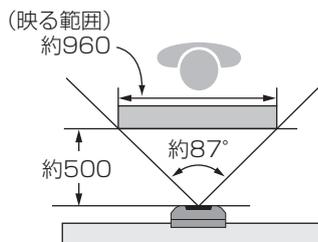
下図の撮像範囲は、カメラから約500 mm離れた場合のものです。

カメラ角度0° (正面)のとき〈お買い上げ時〉

標準位置(本体中心までの高さが約1450 mm)に設置する場合



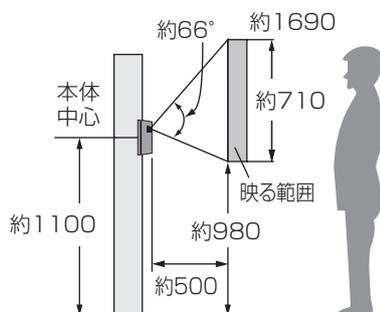
【上から見た場合】



下図のように、標準位置より低い位置や、左または右に離れた位置に設置する場合には、カメラ角度調節レバーで、映る範囲を調節できます。(「 ドアホンを取り付ける」の手順3)

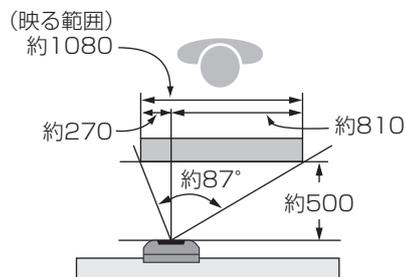
カメラ角度15° (上向き)のとき

本体中心までの高さが約1100 mmに設置する場合



カメラ角度15° (左右)のとき*

正面より左または右に離れた位置に設置する場合(例: 左向き15°)



※上向き15°の場合、左または右向きに約7°まで

ドアホンの取り付け位置を決める	品名	テレビドアホン	品番	VL-SV36KL	
パナソニック システムネットワークス株式会社	作成	2012年8月	変更	年 月	15/22

エントランスポール、サインポスト、カメラ角度調節台への取り付けについて

取り付ける場所や位置に応じて下記の機器をご利用ください。

● エントランスポールやサインポスト：パナソニック(株)製 (2012年8月現在)

エントランス ポール (機能門柱)	アーキフレーム(A~D、F、Gタイプ)、アーキッシュポール、 ECSS (エックス)ユーロポール、ECSS (エックス)ポール、 MOOD (ムッド)ポール、アルモナ
サインポスト (郵便ポスト)	GS型、SS型、SP型

● カメラ角度調節台：当社製 (2012年8月現在)

品 番	備 考		ドアホンの取付角度を変えることが できます。詳しくは、カメラ角度 調節台の説明書をお読みください。
VL-1301A	縦用	補正角度：上下方向 6°	
VL-1302A	横用	補正角度：左右方向 30°	

<エントランスポールやサインポストに取り付けるとき>

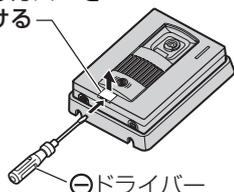
- エントランスポールやサインポストの説明書に従い、正しく取り付けてください。
- サインポストへの取り付けの場合
 - ➔ 蛍光灯回路(AC100V)とは別のケーブルを使用し、新しく配線してください。
 - ➔ カメラ角度調節台(別売品)は、使用できません。

ドアホンの取り付け位置を決める	品 名	テレビドアホン	品 番	VL-SV36KL	
パナソニック システムネットワークス株式会社	作 成	2012年8月	変 更	年 月	16/22

ドアホンを取り付ける

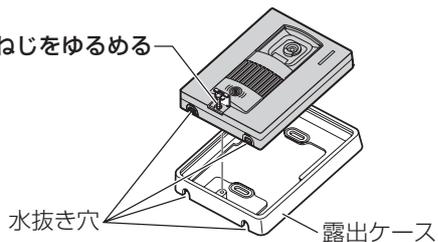
1 露出ケースを外す

① ねじカバーを開ける



⊖ドライバー

② ねじをゆるめる

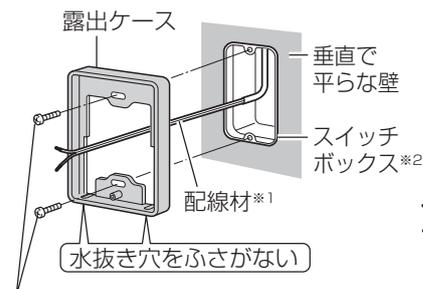


水抜き穴

露出ケース

2 露出ケースを壁面に確実に取り付ける

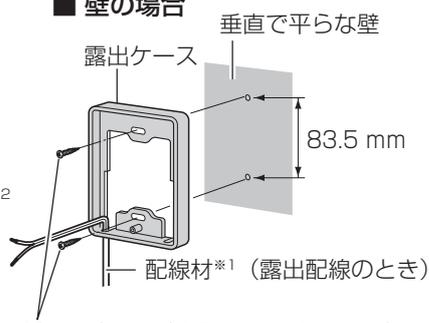
■ スイッチボックスの場合



付属の小ねじ (4 mm × 25 mm)

※1 〈既設の配線を使用する場合〉

■ 壁の場合



付属の木ねじ (3.8 mm × 20 mm)

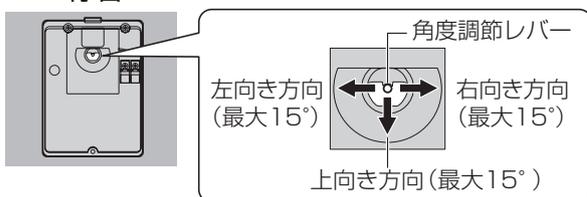
壁の中から出ている配線材が「3本線またはそれ以上」「直径1.6 mm以上の単線」「断面積1 mm²以上のより線」のときは、電源線(AC100 V など)の可能性あります。工事は販売店にご相談ください。(電気工事士の資格がないと、電源工事はできません)

※2 JIS 1 個用スイッチボックス(カバー付き)

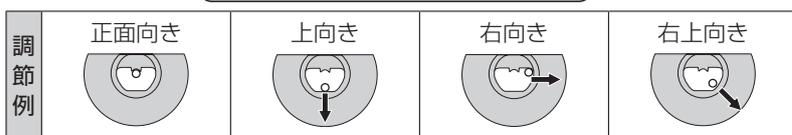
- ・カバーなしには取り付けられません。
- ・底面に穴(スリット)がない場合は、水抜きのための穴を開けてください。

3 カメラレンズの角度を調節する

背面



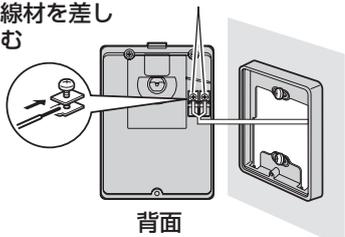
最大 15° の範囲内で、自由な角度に調節できます。



- 「左向き」、「左上向き」にも調節できます。
- 「左上向き」または「右上向き」に設定すると、画像がひずむことがあります。

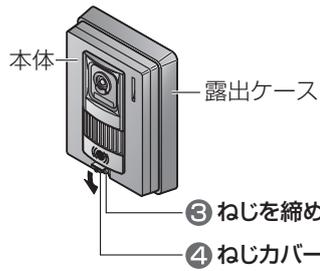
4 配線材を接続し、本体を取り付け、固定する

① ねじをゆるめ、配線材を差し込む



背面

② ねじを締める*3



本体

露出ケース

③ ねじを締める*3

④ ねじカバーを閉める

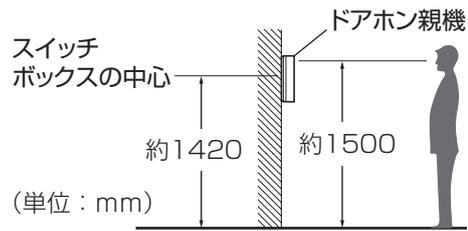
※3 電動ドライバーなどを使う場合は、ねじの破損防止のため、締め付けトルクを 0.7 N · m (7 kgf · cm) 以下に設定してから固定してください。

ドアホンを取り付ける	品名	テレビドアホン	品番	VL-SV36KL	
パナソニック システムネットワークス株式会社	作成	2012年8月	変更	年 月	17/22

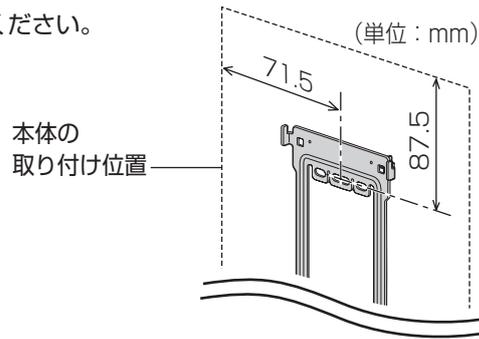
ドアホン親機の取り付け位置を決める

- 本体は、よくご利用になる方の目の高さに画面の中心がくるよう取り付けてください。

(例) 床から約1500 mmの高さに画面の中心がくるように取り付けるとき



- 本体の取り付け位置が決まったら、壁掛け金具は右図の位置に取り付けてください。

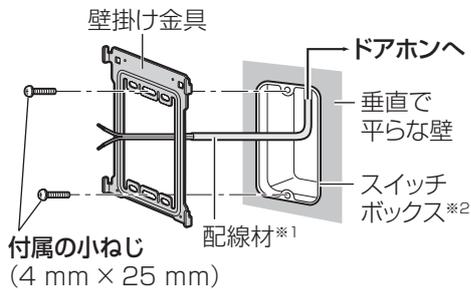


ドアホン親機の取り付け位置を決める	品名	テレビドアホン	品番	VL-SV36KL	
パナソニック システムネットワークス株式会社	作成	2012年8月	変更	年 月	18/22

ドアホン親機を取り付ける

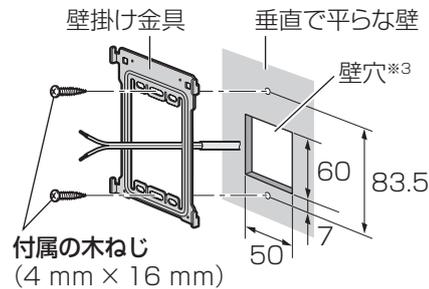
1 付属の壁掛け金具を壁面に確実に取り付ける

■ スイッチボックスの場合



■ 壁の場合

(単位: mm)



※1 〈既設の配線を使用する場合〉

壁の中から出ている配線材が「3本線またはそれ以上」「直径1.6 mm以上の単線」「断面積1 mm²以上のより線」のときは、電源線(AC100 V など)の可能性があります。工事は販売店にご相談ください。(電気工事士の資格がないと、電源工事はできません)

※2 JIS 1 個用スイッチボックス(カバー付き)

- ・カバーなしには取り付けられません。
- ・電源線とその他の信号配線材などが混在する場合は、絶縁セパレーターを取り付けてください。

※3 スイッチボックスを使用せずに壁の中から配線する場合に、壁穴を開けてください。

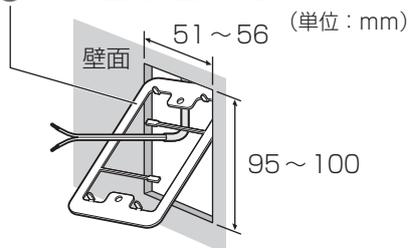
■ パネル壁(石こうボード)の場合

壁に下図のように穴を開け、脱落を防止するため、右記のはさみ金具を使って取り付けてください。

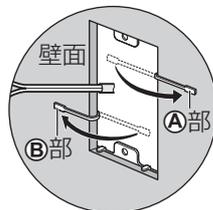
はさみ金具: パナソニック(株)製

品番	対象壁
WN3996020	9 mm~30 mm厚の石こうボード

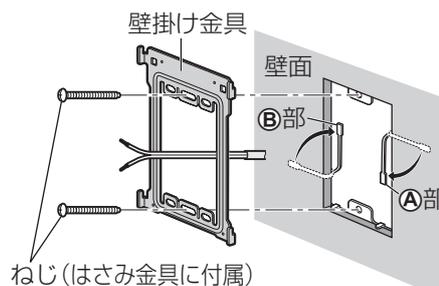
① はさみ金具を壁面の裏側に入れる



② ①部・②部を図のように折り曲げ、はさみ金具を壁面に仮固定する



③ 壁掛け金具とはさみ金具を、ねじで仮止めする



④ ①部・②部を壁端面まで戻し、ねじを締めて固定する

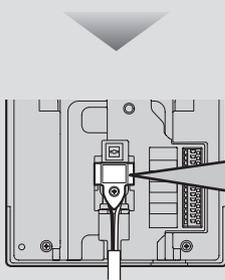
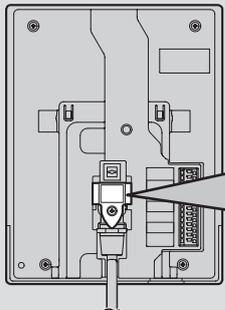
- ①部・②部を、壁掛け金具と壁面に挟み込まないようにしてください。

ドアホン親機を取り付ける	品名	テレビドアホン	品番	VL-SV36KL	
パナソニック システムネットワークス株式会社	作成	2012年8月	変更	年 月	19/22

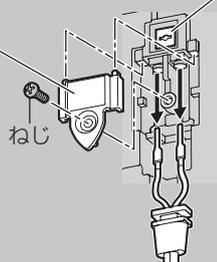
AC100 V 電源線を直結する場合のみ
 (電気工事士の資格がない方は、絶対に作業しないでください)

2 電源コードを取り外し、AC100 V電源線を接続する

〈ドアホン親機背面〉



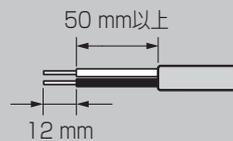
① カバーを取り外す



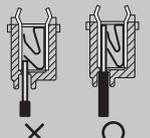
② ドライバーの先などでボタンを押しながら、電源コードを取り外す

③ AC100 V電源線を下記のように接続する

1. 被ふくを12 mmむく
 (線種:φ1.6~φ2.0単芯線)



2. ドライバーの先などでボタンを押しながら、奥まで確実に差し込む



〈AC100 V電源線
 接続端子断面図〉

⚠ 注意

奥まで確実に差し込む



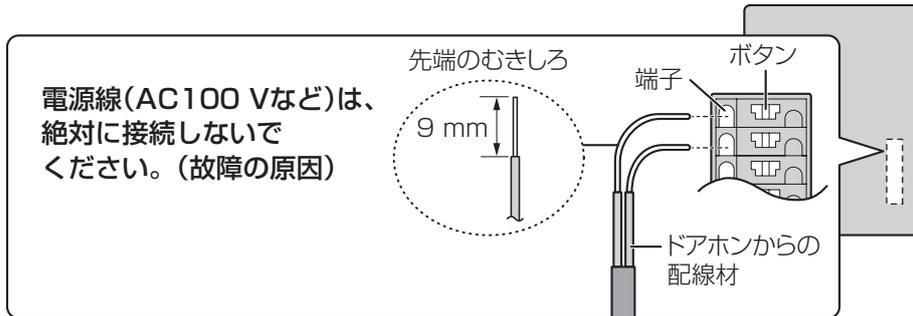
差し込みが不完全な場合、
 発熱の原因になることが
 あります。

④ カバーを取り付ける

ドアホン親機を取り付ける	品名	テレビドアホン	品番	VL-SV36KL	
パナソニック システムネットワークス株式会社	作成	2012年8月	変更	年 月	20/22

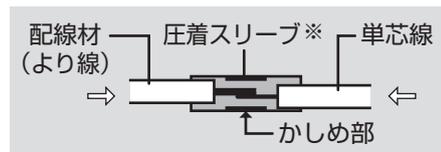
3 配線材を接続する

- 配線系統図(13ページ)に従って正しく接続してください。
- 配線材は、各端子の横にあるボタンをドライバーの先などで押しながらかき差ししてください。



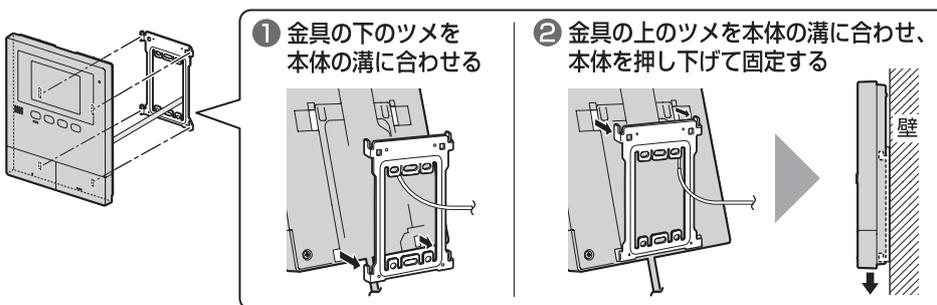
配線材の線種が「より線」の場合

- 端子に直接挿入するとき
被ふくを9mmむき、先端をよった状態で、隣とのショートに注意してボタンを押しながらかき差ししてください。
- 単芯線と結線して使用するとき
結線部をハンダ付処理してテーピングで絶縁するか、市販の単芯線(50mm以上)と圧着スリーブで圧着処理を行ってください。
(結線部をよじっただけでは、接触不良になるおそれがあります)



※ 手順4で、圧着スリーブを壁掛け金具に挟み込まないように注意してください。

4 ドアホン親機を取り付ける



5 [電源プラグで使用する場合のみ]

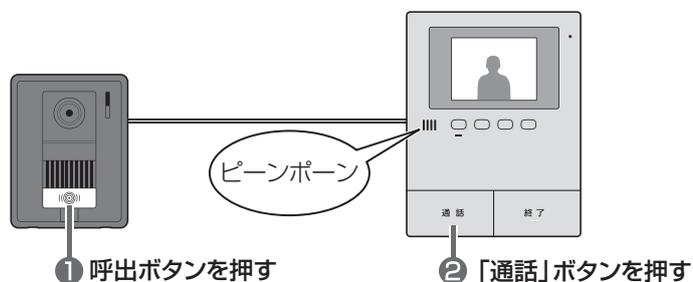
電源プラグのキャップを外して、コンセント(AC100V)に差し込む

ドアホン親機を取り付ける	品名	テレビドアホン	品番	VL-SV36KL	
パナソニック システムネットワークス株式会社	作成	2012年8月	変更	年 月	21/22

正しく動作するか確認する

取り付け・接続後、正しく配線できているか下記の手順で動作を確認してください。

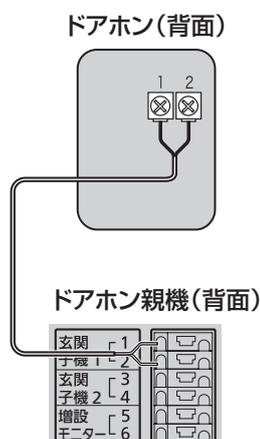
- ① ドアホンの呼出ボタンを押し、ドアホン親機で呼出音が鳴り、映像が映ることを確認する
- ② ドアホン親機の「通話」ボタンを押し、ドアホンと通話できることを確認する
 - 確認が終わったら、ドアホン親機の「終了」ボタンを押す



ドアホン親機が動作しないとき

正しく配線されていない可能性があります。
次のことを確認してください。

- ドアホン側、ドアホン親機側の端子に、それぞれ配線材が確実に接続されていますか？
- 正しく接続したのにドアホン親機が鳴らない場合、壁内での配線に異常がある可能性があります。下記の手順で、確認してください。
 - ① いったんドアホンを外してドアホン親機の近くに持っていく
 - ② 短い配線材などを使って右図のように直接つなぐ
 - ③ 再度、動作を確認する
 - ➔ 正常に動作すれば、壁内の配線に問題があります。配線を確認してください。



正しく動作するか確認する	品名	テレビドアホン	品番	VL-SV36KL	
パナソニック システムネットワークス株式会社	作成	2012年8月	変更	年 月	22/22